第11講

意見・根拠の紡ぎ方（2）

事例をもとに理論を導く
【帰納】

チャプター1

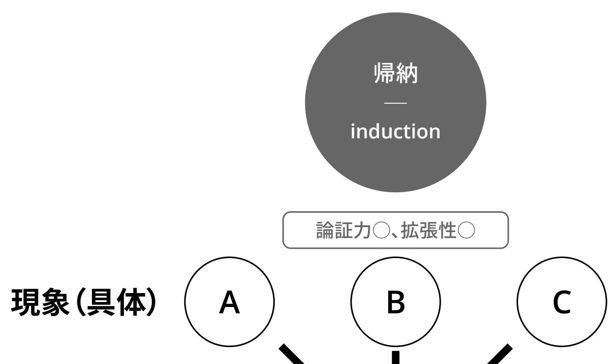
レクチャー

（　　　　　　　　　　）とは、さまざまな事実や事例に共通することがらを発見し、法則やルールを導き出す方法のことである。

事実や事例を恣意的に選んだり、少数の事例で導き出そうとすると、偏った（　　　　　　　　　　）やルールが生まれるので注意しよう。

（　　　　　　　　　　）を用いるには、さまざまな経験をしたり、いままでの経験を振り返ったりしながら、（　　　　　　　　　　）点を発見するトレーニングが必要となる。

○ 帰納（インダクション）



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

皆さんは「大人」でしょうか、「大人」ではないでしょうか、大人になるには何が必要でしょうか。あなたの考えを400字以内で述べてください。

（川村学園女子大学　文学部　心理学科　推薦　2016　改題）

解答案をつくってみよう

（　　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　まだ私は大人ではないと思う。「大人」とは、自分で働いて稼ぎ、自分で暮らしを支えることができるということだと思うからだ。法律では、年齢で未成年か、成人かが区別されるが、未成年でも結婚はできることになっている。しかし、学生のうちに結婚して、自分でお金を稼ぎ、生活ができなかったら、やはり子どものままではないかと考える。自由に結婚や就職、住む場所も決めることができるが、その全てに責任が伴う。それらを自立して行えなければ大人ではないように思う。

　私が今、何かトラブルを抱えたとしたら、結局は親が守ってくれるだろうと考えてしまう。そのように考えている時点で私はまだ大人ではないと思う。このことから「大人」になるには自分の行動に、社会的にも金銭的にも責任が持てることが大事なのではないかと思う。そしてその覚悟は、法律や年齢で線引きができるものではなく、精神の成長がないと得られないと思う。

(390字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　大人と子どもを分ける例として、契約書の保護者同意サインがある。子どもの責任は保護者が取るが、大人は自らの責任を自分で取る必要がある。責任を取るとは、結果の良し悪しに関わらず、自分の決断の結果を受容する事であり、誰のせいにもしないという事だ。

　何かを決断するには、正しい知識の他に的確な判断が必要だ。知識不足ならば調べる事や尋ねる事が求められる。自分で対処できない時には人を信頼して任せる勇気も必要だ。何ができてできないのか、自分を知らないと判断を下せないだろう。決断をする際には、自分に限界がある事を知り、他者との関わりの中で生きる事が必要だと気付かざるを得ない。逆説的に自分が持つ能力によって他者を助ける事が求められる。己の限界を知る者が大人であり、個人に限界がある事を知って他者と、より良い結果をもたらそうとする事が、大人になるためには必要であると考える。

(379字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄